

第 36 回  
日本病院歯科口腔外科協議会学術集会  
プログラム・抄録集

会期：令和 3 年 11 月 12 日(金)  
学術集会 15:30～18:20

会場：幕張メッセ国際会議場 第 3 会議場(301)  
(第 66 回 日本口腔外科学会総会・学術大会会場内)

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

TEL：043-296-0001(代) FAX：043-296-0529

大会長：佐野次夫

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院歯科口腔外科



## 大会長挨拶

第 36 回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会 大会長  
医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院歯科口腔外科  
副院長 口腔センター長 部長 佐野次夫

この度、第 36 回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会大会長を拝命いたしました佐野です。ご指名をいただきました宮田 勝協議会理事長ならびに協議会役員の方々に深く感謝申し上げます。またこの会を開催するにあたって多大なるご配慮とご厚意を賜った第 66 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会大会長であります原田浩之 東京医科歯科大学大学院教授ならびに実行委員長の道 泰之講師に心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延のなか本年も学会の開催形態が見定まらない中、本年は「病院歯科口腔外科における研修医の教育ならびに人材育成についての検証」を千葉市の幕張メッセ国際会議場で開催する運びとなりました。

今回のシンポジウムは将来を見据えた時、歯科医師の仕事のあり方がドラスティックに激変するだろうと言われている 2030 年代を踏まえ、それに先駆けて重要視されている病院歯科口腔外科の存在価値に焦点をあてたいと考えております。

地域包括ケアシステムに向けた歯科医師の卒後教育はどうあるべきか。疾病構造が明らかに変化する歯科医師の卒後教育はどうあるべきか。これらの問題に対して本年は『歯科医師臨床研修の制度改正』が行われたため、シンポジストとして厚生労働省医政局 奥田章子先生からは臨床研修制度改正の要点を、医学部口腔外科からは信州大学の栗田 浩教授、歯学部口腔外科からは東京歯科大学市川総合病院の野村武史教授、さらに病院歯科口腔外科からは三井記念病院歯科口腔外科の津山泰彦部長にお願いしました。今までの研修の形態、さらにはこれからの研修に対してそれぞれの研修施設の特徴を踏まえた異なった角度からの考え方をご提示していただけるようお願いしました。

疾病構造の変化から病院歯科口腔外科は従来からの考え方にとらわれずに新たな領域に踏み込んでいかなければ存在価値がなくなり、活躍の場を失いかね

ない状況となっています。病院内においては多数の病気を有する患者の周術期口腔機能管理を筆頭に摂食・嚥下回診、NST回診、緩和ケア回診、Tumor board活躍の場はどんどん広がっています。というよりそれについていけるような診療体制の充実が求められています。それらに適応できる研修医の教育体制はこれからの歯科のあり方に向けた重要な課題と考えています。

本シンポジウムが全国の病院歯科口腔外科の今後の発展につながるよう祈念して大会長挨拶とさせていただきます。

# プログラム

新型コロナウイルス感染症のため、総会、懇親会は開催致しません。学術大会のみです。会員の皆様は、第65回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会の参加手続きのうえ、ライブ配信を視聴して下さい。

学術集会 15:20～18:30

## 1. 大会長挨拶

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院歯科口腔外科  
副院長 部長 佐野次夫

## 2. 理事長挨拶

石川県立中央病院歯科口腔外科  
部長 宮田 勝 先生

## 3. シンポジウム

「病院歯科口腔外科における研修医の教育ならびに人材育成についての検証」

### (1) シンポジウム

#### 1) 「歯科医師臨床研修制度の制度改正と病院歯科口腔外科における歯科医師臨床研修」

厚生労働省医政局歯科保険課  
課長補佐 奥田章子 先生

#### 2) 「医学部歯科口腔外科の立場から」

信州大学医学部歯科口腔外科学教室  
教授 栗田 浩 先生

#### 3) 「歯科大学がもつ総合病院が抱える研修医教育と人材育成の課題」

東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座  
東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科  
教授 野村武史 先生

#### 4) 「病院歯科口腔外科における研修医の教育ならびに人材育成についての検証」

三井記念病院 歯科・歯科口腔外科  
部長 津山泰彦 先生

### (2) ディスカッション